

第 405 回静岡エフエム放送番組審議会議事録

1. 日 時 令和 6 年 10 月 1 日 (火) 11:00~13:00
2. 場 所 静岡エフエム放送本社会議室
3. 番組聴取講評 [番組名] PERKY SOUND FLASH
[放送日時] 令和 6 年 9 月 21 日(月) 9:00~9:55
[出演者] 牧村一穂
4. 出席者 [委員] 委員長 木宮敬信 副委員長 角田哲康
委員 服部乃利子 委員 加藤裕治
委員 小野晃司 委員 土屋維子
[会社] 代表取締役社長 井熊正浩
取締役放送事業本部長兼編成制作部長 杉山啓充
編成制作部専任部長 鈴木秀明
5. 事務局報告 ○K-MIX の 2024 年上半期報告と下期の展望
6. 番組審議

[番組名] PERKY SOUND FLASH
[放送日時] 令和 6 年 9 月 21 日(月) 9:00~9:55
[出演者] 牧村一穂
[番組内容] 1988 年スタート、37 年目となる K-MIX 自社制作生放送では一番のロングラン番組で、牧村一穂は 11 代目のパーソナリティ。番組はスタート以来の一社提供（静岡県信連）。これまでの番組の雰囲気も大切にしながらも現パーソナリティ・牧村の色も出していこうと考えています。朝 9 時からの番組ということ意識したトーンとテンポと音楽を大切にしています。

[聴取・合評での主な意見]

小野委員 パーソナリティの牧村さんは、個性もあり、今注目の伸び盛りだと思われるが、バカボン鬼塚さんとの 2 人トークに比べると、普通のテンションで、どういうカラーが牧村さんの個性として合うのかが見えなかった。審議に先立って配布された番組の企画書は番組の目指すところが、はっきりしていてわかりやすく好感が

持てるので、トークでも目的を持って、バカボン鬼塚さんと相対する時のようにアドリブを多くしたりすると、元々持っている声質の個性も光るのではないだろうか。

角田副委員長

久しぶりの牧村さんの一人トークを聴いて、声の迫力、リズム感がアップテンポで、押しが強くなっていて良い。但し、土曜日朝9時の番組としては、少しテンションが高すぎるのではないか。牧村さん自身が番組を進行する際に、等身大を意識し、歴史ある番組の伝統を残しながらも自分なりにリニューアルを心がけていることも理解できるが、リアルタイムで聴いている聴取者の耳には、上手く届いていないところもあるように思われる。牧村さんの良さの一つは「歯切れの良さ」であるが、この番組では、少し、「調べ」（＝流れ＝旋律）を意識するとさらに良くなってくると考えます。

加藤委員

“ワンオペ”の番組運行に慣れを感じるし、生放送に向けた準備をしっかりとしていると思われる。また、自分のカラーも考えられており、内容も練られている。さらに、聴取者からの生放送中に寄せられるメッセージへの対応も、聴き手も面白く感じてもらうという姿勢が見えて好感が持てる。一方で、番組の本番中に、自分の用意した内容をいかにうまく埋め込んでゆくか、自分の用意した内容をどのように折り込むかを考えている姿が見え隠れし、進行の速度が速いと思われる。もう少し、話し方をゆっくりと、また、番組内容全般に、事柄を自分の事として相対するといろいろと、印象が変わってくると思われる。情報伝達とフリートークの住み分けを考えてみてはどうだろうか。

土屋委員

牧村さん本人の“等身大の姿”がはっきり見える番組。手を抜くこともなく、頑張りすぎておらず、肩の力が抜けていると思われる。一方で、牧村さんが担当している他の番組に比べて、個性が薄いと感じた。しかしながら、番組内容は、牧村さんの世代に合っており、完成していると思う。今後、試行錯誤して行くとしても、牧村さん本人が”良い”と思う価値観を進めていけば、方向性は合っているのではないかと感じる。

服部委員

最初に、休日感もあって、とてもさわやかに感じた。
“ワンオペ”の良い面である「自由感」と「番組に対する牧村さんの心掛け」がしっかり反映している番組でもある。
個人的には、水木の生ワイド「K-MIX MOVE ON」と同じテンションではないところが良い。
生放送でワンオペ運行なので、長いメッセージを受け取った時などに、口から出てくる言葉と頭の中の思いがマッチしていないところもあるので、その辺は、今後の課題と思われる。
この番組は、「パーソナリティ」と「音楽」で成立していると思うので、もう少し、選曲に関する想いや音楽情報があっても良いと感じる。

木宮委員長

この番組は、長い歴史の中で、一貫してコンセプトのベースを変えていないところが評価される。牧村さんの番組での立ち位置やトークのトーン等が、担当番組でいろいろと、ご意見があるが、基本的な、アナウンス力が最も必要なのがこの番組なのではないだろうか。例えば、原稿で用意した内容が
「手元に原稿があれば理解できるが」「耳だけで聴いていると言葉が理解できない＝伝わらない」ところもあるので、
原稿とフリートークのメリハリを意識するとトークの習得にもつながる良い番組である。選曲には牧村さんの色が出ているが、リクエストやXの反応等を踏まえながら、自分の知らない曲も入れてみると良い音楽キャリアになるとと思われる。
聴取者対応は上手くできているので、この辺りの器用さが牧村さんの良い所でもある。

会社サイド

番組開始当初から“ワンオペ”で放送を運行していますが、できる限りそれを感じさせないよう、歴代（牧村本人にも）、練習を重ねてきております。また、メッセージをできるだけ多く読み、Xコメントも可能な限り拾い、生放送ならではのクロスコミュニケーションを今後とも大切にしていきます。

以上

次回開催日 令和6年11月5日(火) 11:00～13:00を予定

番組審議会委員長
木宮敬信